

保育相談支援	2年 後期	演習1単位	担当教員名	小玉 幸助
	卒選 幼選 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 保育者として専門性とされる相談支援、援助技術の内容と方法を理解し、技術を習得する。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育相談支援の目的と原則について理解する。 ・ 保護者支援の基本を理解する。 ・ 保育相談支援の実際を学び、知識と方法を理解し、援助技術を習得する。 ・ 児童福祉施設等における保護者支援の実際について理解する。 				
授業の概要 保護者への相談支援は、保育者の業務であり、その専門性を生かして子育て支援の役割が、特に重要なものあることを踏まえ、保育に活用され応用される相談支援の内容と方法、援助技術の習得を目的に学ばせる。その際、子どもの保健、相談支援、家庭支援理論との科目との関連性を考慮する。				

授業計画

コマ(回)	項目	内容
1	保育相談支援の意義	・オリエンテーション ・保育相談支援の意義 ・保護者の背景 ・レポートについて
2	相談援助技術①	・保育者が可能な保育相談支援の内容 ・インテークとアセスメント(ABCE分析)
3	相談援助技術②	・援助技術について (マイクロ・カウンセリング、行動療法アプローチなど)
4	演習 (OSCEモデル) 保育相談支援①	・OSCE演習 (ケース会議からカウンセリングまで)
5	演習 (OSCEモデル) 保育相談支援②	・OSCE演習 (ケース会議からカウンセリングまで)
6	保育ソーシャルワーク①	・保育ソーシャルワークについて ・関係機関との連携 ・関係機関との連絡調整
7	保育ソーシャルワーク演習	・課題解決型演習(全てのケースを解決するためソーシャルワークを活用する)
8	保護者に対する指導	・保護者会における子育て支援 ・保護者支援 ・ペアレントトレーニング
9	保育ソーシャルワーク関連援助技術①	・発達障がいに対するソーシャルワーク ・問題解決技法 ・行動療法的家族指導
10	保育ソーシャルワーク関連援助技術②	・社会生活技能訓練 (SST) ・認知療法・認知行動療法 ・課題解決型演習 (ケース事例)
11	保育ソーシャルワーク関連援助技術③	・Nobody's perfect program・コモンセンスペアレンティングについて ・課題解決型演習 (ケース事例)
12	演習 (OSCEモデル) 保育相談支援③	・OSCE演習 (ケースからソーシャルワークまで)
13	演習 (OSCEモデル) 保育相談支援④	・OSCE演習 (ケースからソーシャルワークまで)
14	特別対応を要する支援①	・保育所の役割と地域資源について ・虐待・DV対応時の保育ソーシャルワーク
15	特別対応を要する支援②	・育児不安をもつ保護者対応 ・課題解決型演習 (ケース事例)
定期試験	実施する。(保育士国家試験相当)	
テキスト	小林育子『演習 保育相談支援』萌文書林 2013.	
参考図書	柏女霊峰・橋本真紀・西村真実他『保護者支援スキルアップ講座 - 保育者の専門性を生かした保護者支援 - 保育相談支援 (保育指導) の実際』ひかりのくに 2010.	
教員の評価方法	受講態度・演習参加 (20%)、定期試験 (80%) の総合評価	
準備学習等履修上の留意点	相談援助・子どもの保健などを復習すること (援助技術と発達過程の知識がないと講義が難しくなる)	